



原ゼミ韓国旅行
2013.9.4~9

はじめに

今回の韓国へのゼミ旅行では本当にたくさんの方に大変お世話になりました。

原ゼミ一同、心から感謝申し上げます。

ソ・チャンウォン先生

イ・トクジュ先生

チョウ・サオク先生

キム・ゾンソク先生

神田健次先生

イ・チマン先生

関西学院大学から参加された神学部の皆さん

メソジスト神学大学の皆さん

日本宣教教会の皆さん

そして、イム君！

本当に感謝しきれないほどお世話になりました。

ありがとうございました。

みなさんのおかげで、とても楽しく、この上なく貴重な経験をさせて頂きました。

カムサハムニダ！！！！

スケジュール

	日程の詳細	担当者等
第一日 9月4日(水)	- Jeju Air(7C1491便)で金浦空港着18:45 - 夕食(韓定食)、MTU学長の招待	林ヨンソブさんのお迎え及び案内
第二日 9月5日(木)	- 07:00 朝食 (バビエンホテル) - 09:00 ソウル貞洞教会、徳寿宮見学 - 11:30 お昼 (MTUの提供) - 13:00 MTUチャペル (神田健次先生、原誠先生挨拶) - 14:00 学術シンポジウム (MTU中講堂) - 18:00 夕食 (宗門教会の提供)	MTUの担当
第三日 9月6日(金)	- 07:00朝食 (バビエンホテル) - 09:00 MTUのプレゼント (MTU2階会議室) - 午前中MTUの授業参観 - 12:00 お昼 - 14:00 独立門、景福宮、セムナン教会、仁寺洞などソウル市内観光 - 18:00 夕食 (仁寺洞)	徐唱源教授の案内
第四日 9月7日(土)	- 07:00朝食 (バビエンホテル) - 09:00 秘苑 (昌徳宮の後苑) 観光、10:30から日本語案内 - 12:00 お昼 - 14:00 ソウル南山タワー、南山韓屋村、明洞、南大門市場 - 18:00 夕食	曾沙玉牧師の案内
第五日 9月8日(日)	- 07:00朝食 (バビエンホテル) - 09:00 日曜礼拝、光林教会、金ゾンソク牧師 - 12:00 お昼 (光林教会の提供) - 14:00 日本宣教教会訪問及び午後礼拝 (曾沙玉牧師) 原先生の説教、原ゼミ学部生たちの特別賛美 - 17:00 夕食 (日本宣教教会の提供)	林ヨンソブさんの案内
第六日 9月9日(月)	- 07:00朝食 (バビエンホテル) - 09:00 清溪川の見学 - 11:00 ホテルチェックアウト、金浦空港へ移動 - 12:00 お昼 (金浦空港にて) - 14:20 出国 (Jeju Air 7C1482)	林ヨンソブさんの案内と見送り

一日目

初日ですから本当にドキドキしていました！

実は、あまりに楽しみに集合時間の3時間前に到着した筆者です。

台風のため、ゼミメンバーの集合が大変でした。

大雨で新幹線が止まったりしたこともあって、全員が集合時間に空港に到着することはできず、冷や汗ものでしたが、なんとか無事集合し、韓国へと出発しました！



韓国に到着して、まず感じたのはキムチの匂いでした。

外国人が日本に来るとまず感じるのは味噌汁のにおいだと聞いたことがあります
が、国の匂いは国を代表するような食べ物の匂いなのかもしれません。

空港で、先年度に一年間、同志社に留学していたイム君と合流しました。
日本語を使うのは久しぶりで、だいぶ忘れたと言うイム君（左側）でした。
2日くらいで完全に日本語の勘を取り戻していましたが（笑）



ホテルへ荷物を置いて、さっそく韓国到着後初の韓国料理を食べにいきました。

キムチチゲの老舗でごちそうになりました。
初めての本格的な韓国料理で、辛くて辛くて。

でも、日本のただ辛いという辛さとは違って、辛くてすごくおいしいんです！！

二日目

イ・トクジュ先生と、神田健次先生、イ・チマン先生、関西学院大学の神学部の皆さんと合流し、徳寿宮の見学をしました。



韓国の歴史神学者で三本の指に入るイ・トクジュ先生に案内と説明をして頂きました！いや本当になんというか恐縮です。





学生服の似合う相馬さん↑です。

ページェー大学の資料館を見学しました。

記憶が正しければ、昔の学生がどんな感じだったかとか、韓国の基本的な歴史が楽しく展示されているような感じだったと思います。

あまりじっくり見る時間もなかったですから。

MTUで友達になった人たちが本当にいい人ばかりで、MTUと書くだけで気分が良くなります。



MTUの総長さん、神田先生をはじめとする関西学院大学神学部のみなさん、イ・トクジュ先生、同志社大学の原先生、僕たち原ゼミ生で食事をしました。

すき焼きのような料理（プルコギ）でした。



とてもおいしかったです。おいしかったです、全く辛くなくて、韓国で辛いもの慣れし始めた段階だったからか、辛い物が出てくると心の準備をしていたからか、個人的には、これでも韓国料理かい、とか思っていました。すいません。おいしかったです！



食事の後に、礼拝がありました。

残念ながら写真はありませんが、神田先生と原先生が挨拶をされました。

短いお話でしたが、原先生の、

「韓国と日本の間には大きな課題がありますが、我々の国籍は日本や韓国ではなく天の国にあります。」

というお話の一部分が深く心に残っています。少し泣きそうになりました。

<日韓三校交流シンポジウム>

このゼミ旅行の中でも、最も重要なイベントでした。

韓国の日本統治の時代に、韓国から日本に、関西学院大学と同志社大学に留学した韓国人学生に関する論文の発表がありました。





シンポジウムが終わると、貞洞教会に移動しました。

貞洞教会はイ・トクジュ先生のお友達のキム・ゾンソク先生が牧師をされている教会で、とてもおいしい夕食を用意してくださいました。

本当に、おいしかったです！

そしてこのときに日本宣教教会の最高の若者たちと初めて対面したわけですが、まだお互い緊張していましたから、ぎこちなかったですね。でもとても楽しかったですよ。



夕食を終えると、貞洞教会の地下の礼拝堂を見学させて頂きました。
地下三階から地上5階までぶちぬきの荘厳な礼拝堂でした。
信徒数もすごい勢いで増加しているらしく、韓国の基督教の勢いに圧倒されました。
担当牧師のキム・ゾンソク先生の朗らかな雰囲気も、信徒数が増え続ける一因なのだろう
と思いました。



有名な鶏肉料理のお店でシンポジウムの打ち上げ？をしました。
特に原ゼミ生がシンポジウムで何かしたわけではありませんが打ち上げです。
原ゼミはこうでないと！

原先生からシンポジウムの補足の説明をして頂きました。

真面目な話だってちゃんとします。はい。



二日目は本当に濃い一日でした。
最高にいい経験でした。

ただ、一日中新しい場所で新しい経験をすることは、とても体力と精神力を使いますから、ホテルに到着すると全員すぐに爆睡しました。

こんなに濃い濃い日はあまりないですね。

三日目

MTUの大学院の授業を見学させて頂きました。
突然の訪問にも関わらず、あたたかく迎えて頂きました。

ソ・チャンウォン先生の無茶ぶりで、原先生は全く予告なし、準備なしで、MTUの大学院生の前で2回スピーチをすることになりましたが、そこはさすが原先生で、本当に素晴らしいお話をしてくださいました。原ゼミ生としても誇らしいですし、ドヤ顔ですよ。



友への無茶ぶりは、国を問わず世代を問わず共通なのかなと思いました。

その後に、西大門刑務所を見学しました。

原ゼミの参加メンバーのほかにも、韓国の女子学生などが、見学に来ていました。

教科書などの知識だけでなく、現地の雰囲気を感じるという、本当の意味での歴史認識の重要性を実感しました。



すぐ下の写真は何を説明されているかと言うとですね、

この刑務所が建てられたときは、ちょうどプラグマティズムが流行していたときだったそうで、たった一人で、400人とか500人くらいの囚人を見張ることができるような構造に建物が造られている、ということです。



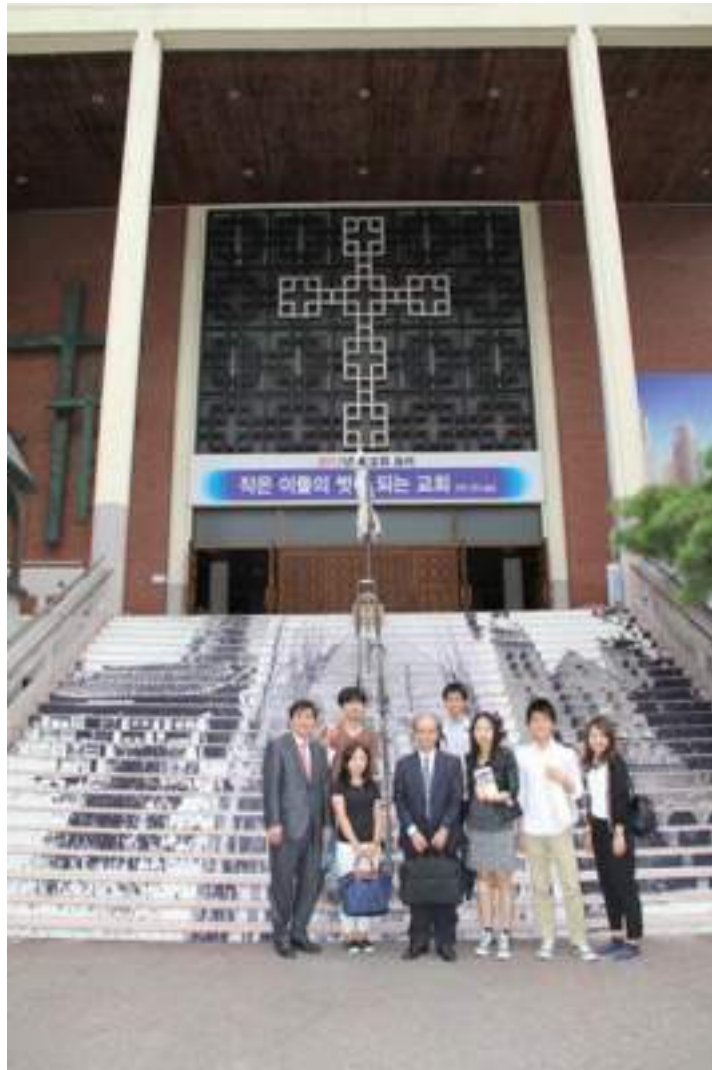
真剣に学び、考えなければならないなと思った場所でした。



場所は変わって、ソ・チャンウォン先生とカフェで一服しました。
言語の壁があるので、あまり話せませんでした。が、原先生に負けず劣らずかわいい先生だ
なと思いました。



韓国の長老派の教会の中で一番古い、セムナン教会を訪問しました。



ソウルを中心をいろいろ歩いて回りました。豊臣秀吉の日本軍を撃退した李舜臣とハングルをつくった世宗大王の像がある広場に行きました。

歴史で勉強したことはありましたが、李舜臣が本当に高い評価を受けていることを知りました。

行ってみないと分かりませんね。



日本大使館と日本の大企業の建物の前で、座っている従軍慰安婦の像です。このような場所に設置されていることを知り、日韓の歴史的な関係を深く考えさせられました。



その後に、景福宮に行きました。

日本語のツアーがあり、分かりやすかったです。
チマチョゴリを着たガイドさんがとてもきれいな人でした。





←何がおもしろかったから笑っているのかさ
っぱり思い出せないことが残念です。
まあ、旅行中ずっと楽しくて笑ってたけど

↓まーた、またまたカフェに行って、大きな
ワッフルを食べました。満腹です。



晩ご飯を食べに向かう途中の写真です。
道の向こうに塔がいい感じに写っています。
カメラマンをやってくれていた相馬さん、流石です。



夕食は仁寺洞というお店でいただきました。

ソ・チャンウォン先生のお連れ合いさんとそこで一緒にできました。

それぞれの料理は一般的な韓国の家庭料理ですが、出てくる種類の多いこと多いこと！！
お皿が机に乗り切らなくなると店員さんに勝手に自分の小皿に料理を乗せられます。



おいしかったですね！

やっぱり、日本の韓国料理と、本場韓国の韓国料理は全然違って、本場は断然辛くて、断然おいしいです。

今更ながら、写真を見て、すごい量のお皿の数だと思います。
本当にいい思い出です。

四日目

さて、ゼミ旅行も後半戦となってまいりました。

日差しがきつい日でした。

晶徳宮に行って、チョウ・サオク先生と日本宣教教会の若者たちと再会しました。

この日からですね。めっちゃ仲良くなれたのは！ 記念すべき日です！



←は若返りの門らしいです。

徹底的に手入れをする日本のお庭とは違い、自然のままの美を大切にする韓国のお庭は、日本のものとはひと味違う魅力がありました。



参鶏湯（サムゲタン）を食べました！

小さめの鶏を丸っと調理して味付けをしてあるもので、滋養強壮にもいいのだとか。

かなり高級な料理だそうで、日本で食べたらもっと高いと聞きます。

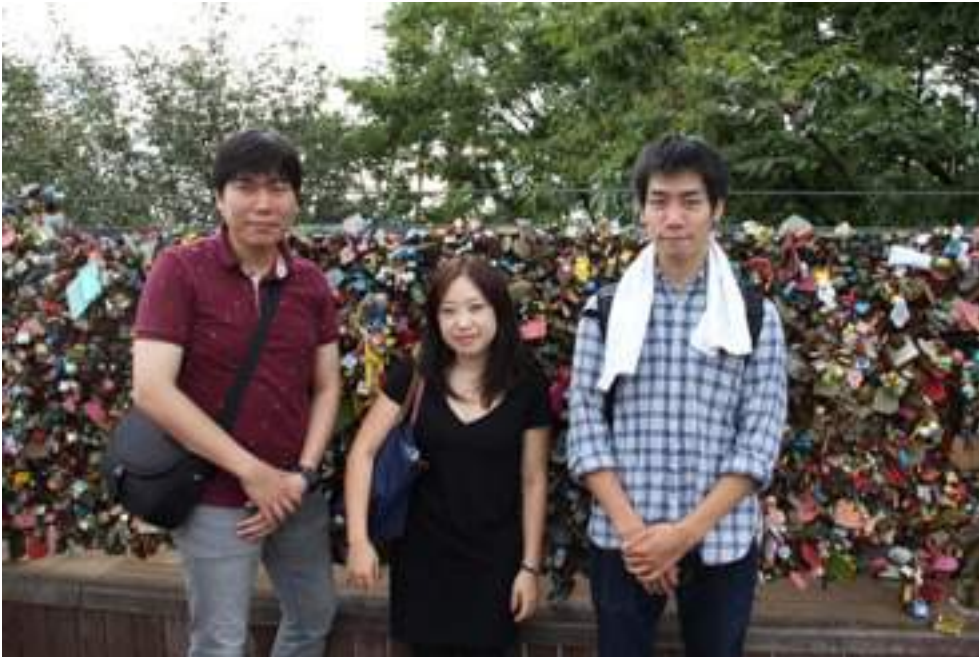
正直、見た目に少しビビりましたが、おいしかったです。

食べてばっかですね。

韓国の旅行中お腹減ったことなかったですから（笑）

ソウルタワーに行きました。

ザ・デートスポットって感じでした。



写真の三人の後ろにあるのは、木ではなくて、カップルたちが自分たちの写真に鍵をかけてぶら下げたものの蓄積です。

名前は出ませんが、一緒にいた韓国人の友達が、嫉妬に狂って蹴ってました。

その後は、食べ放題の焼き肉に行きました。

みんな疲れてぐったりしていました。

相馬さんが疲れすぎておっさん化していました。



みんなさすがに疲労困憊していました。

しかし、原ゼミメンバーには重要な使命がありました。

次の日（五日目）の日本宣教教会の礼拝で、特別賛美として、メンバーだけで賛美歌を歌うことです。

今回のゼミ旅行では非常にいい思いをさせてもらっているにもかかわらず、僕たちに課せられた任務はこれだけでしたから、何としてでも特別賛美は成功させなければならない！

このように感じていた僕たちは、どれだけ疲労困憊していても、ホテルですぐに寝るわけにはいきません。

全員音楽は完全に素人でしたから、手探りで、危機感の中で特訓をしました。

そして深夜、

なんとかハーモニーらしきものがでて、それらしくなり！ 明日はもう大丈夫！と安心して眠りについた原ゼミメンバーたちでした。

五日目

今日は礼拝に二回参加します。

一つ目は光林教会という巨大な教会（メガチャーチ）の礼拝。
二つ目が例の日本宣教教会の礼拝です。

まずは館林教会で記念撮影



礼拝は、日本のものとは比べ物にならないほど力強く、韓国のエネルギッシュな特色を感じました。

説教も、全く日本とはスタイルが違って、同じキリスト教でも、全然違うものだなあと感じました。



礼拝堂の中で記念撮影です。
何もかもがメガサイズでした。

礼拝後に別室で、光林教会の担当牧師の先生が直接お話をしてくださいました。



そして、とうとう日本宣教教会の礼拝です。



まず驚いたことは、皆さん礼拝のために多かれ少なかれ正装していたことです。韓国のメソジストは本当にきちんとしているのだなあと感じました。



そして、特別賛美！
礼拝が始まる直前まで何回も練習した成果を出すときが来ました。

結果からいうと、めちゃめちゃでしたね。

僕たちの最大の誤算はオルガンの音の大きさでした。



ただでさえ不安定だったハーモニーは完全に崩壊していました。

アカペラだったらいけた気がします。

まあ過ぎたことです。

それでも、日本宣教教会のみなさんが笑わずに愛をもって聞いてくださったことに感謝です。

素人なりにすごくがんばったから、イエス様も許してくれると思います。

それに、深夜まで使命感に燃えてみんなでがんばって歌の練習をしたのは、高校の部活みたいで楽しかったですし。

さらに、原先生はソロで特別賛美をされました！心を打たれました。さすがです！



礼拝の後は、軽く軽食を取ってから、焼き肉に行きました。

こうやって記録にしているとつくづく食べてばかりだなあとと思います。



その後はまた、カフェに行きました。江南（カンナム）のカフェです。

韓国での6日間で、何回カフェ行ったかな。一日3回か4回くらい行ってますから、合計は・・・恐ろしい回数行きましたね。一生分くらいです。



せっかく、有名なカンナムに来たのだからということで、限界突破して疲労困憊しているにもかかわらず、若者たちは遊びに繰り出すことにしました。

まあ、世界中のどこにいても同じことが言えると思いますが、大体、大都会にある店はどこも似たようなものだなあと感じました。

それでもやっぱり韓国のエネルギッシュな雰囲気は韓国でしか味わえないですね。

6日目（最終日）

異常に濃かった韓国旅行も最終日です。

午前中はデパートに行って、お土産を物色し、後はチョウ・サオク先生に言われた通りにジャージャー麺を食べて帰るだけです。



空港でジャージャー麺を頂きました。

文句無くおいしかったです。

辛かったです。

辛い物は苦手なはずだったのですが、この旅行でいつの間にか免疫がつきました。

韓国から日本に帰るときが来ました。

正直、韓国に滞在中も全く外国にいるような感覚がなかったので、日本に帰るということにあまりピンと来ませんでした。

やっぱり文化が似ていると感じました。お隣さんですし。



韓国を出発して、日本到着です。近い！



本当に原先生ありがとうございました。

ゆっくり休んでください。

<2013年度原ゼミ韓国ゼミ旅行の感想>

神学部三回生 佐藤亜美

まず、初めにこの韓国研修を計画して下さったたくさんの方、またお世話になった方々に感謝をしたいと思います。

たくさんの方に出会い、たくさんの学びが得られて、本当に感謝しています。

これまで、韓国に観光で訪れたことはありましたが、ここまで深く日本と韓国のつながりを考えたことはなく、韓国のポップカルチャーや食べ物が日本でブームになり注目されているから訪れていました。

しかし、今回のゼミ旅行で、私が一番大きく衝撃を受けたのは、やはり日韓の歴史認識の違いでした。

TVやメディアで論争をされている「歴史認識」というものに自分は関係がないと思っていましたが、今の生活に大きく関わっていると分かりました。

そしてこれは、日本人として知るべきことであると大いに感じました。

日本人として正しい歴史認識を学ぼうと訪れている人はまだまだ少ないでしょうが、今回のゼミ旅行をきっかけとして日韓の関係を考え、正しく理解し、これからも学び続けていきたいです。

そして、お互いがより深く繋がっていけることを心から望んでいます。

神学部三回生 鍵谷秀之

本当にたくさんの人にお世話になりました。

感謝してもしきれません。

おかげさまで楽しくて楽しくてたまらない旅行でした。

ついこの間まで、韓国の挨拶は、ニーハオだったかな、なんてひどいレベルだったにも関わらず、今や、アニョハセヨどころかサランヘヨまで知っています！

ご縁とは本当に不思議だなあと 생각합니다。

僕に韓国人の、しかも最高におもしろい友達がたくさんできて、しかも、日本に帰ってきたら韓国人教会に通い始めちゃってるんですから、自分でも意味が分からないです。

全く、ひとかけらも想像していなかった状態です。

個人差はあるでしょうが、韓国人の義理堅い感じの気質がすごい好きになってしまったのですよ。

本当にあたたかいなーとおもいます。

僕は、学問や政治がまだよくわかりません。でも、こうやってみんなが仲良くできたらいいのになと心から思います。

絶対に仲良くなれると思います。

韓国でできた新しい友達には、これからも仲良くして欲しいなと思います。

また、韓国に遊びにいきたいです。

カムサハムニダ！！

神学部四回生 青柳海座弓

まず、同志社の神学部生であることに誇りを感じております。

原先生のお力により、この度韓国で貴重な経験をさせて頂きました。

メソジスト神学大学の先生方、学生の皆様、教会関係の皆様に心温まる歓迎をしていただき、心よりお礼を申し上げます。

シンポジウムでは、日本が韓国を統治していた時代の思想や歴史など、様々なことを学びました。

学生最後の年に、非常に意味のあるシンポジウムに参加させて頂けたことを本当に嬉しく思っております。

また、西大門刑務所を訪れた時の衝撃は今でも心に残っています。

授業で日本が韓国を統治していた頃のお話は、少し聞いていましたが、実際に使われていた死刑台や、当時の様子を目の当たりにし、言葉が出ませんでした。

日本人として一度は見て、知っておかなければいけない事だと改めて思いました。

この旅は、本当にたくさんの異文化や歴史に触れ、まず「知る」ということができた旅でした。

知って終わらせるのではなく、これからどのように活かすことができるかを考えることがこれからの課題です。

国同士の歴史は簡単に動かせるものではありませんが、少なくとも今の私たち若者同士の間で神学を通し、お互いを尊重し、分かり合えればと思っております。

韓国から帰国し、まだ2ヶ月も経っていませんが、この旅を通して得た出会いが韓国でも日本でも沢山ありました。

この出会いから学ぶことが本当に多いと日々実感しております。

文化や歴史、言語の壁は勿論ありますが、こうして得た出会いを大切にし、お互いに学び、支え合っていければと考えております。

最後になりましたが、この旅のためにご尽力下さいました事務の方をはじめ、同志社関係の方々にもお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

神学部四回生 相馬一茶

今回の韓国でのシンポジウムで写真撮影を担当しました神学部四回生、相馬一茶です。

一番気に入っている写真は、原先生がページェ大学の前で立っていらっしゃる写真です。

私達原ゼミのメンバーが韓国に訪問できたことは、原先生のお力があっての事でした。まずこの機会を与えてくださった、原先生、ソ・チャンウォン先生、イ・トクジュ先生に感謝を述べたいです。

私は韓国に留学を考えています。

韓国語は以前から話すことが出来たのですが、今回久しぶりに生きた韓国語を学ぶ事が出来ました。

韓国語でのシンポジウムの発表はとても新鮮でした。

いつかは日本語だけでなく、韓国語でもスピーチが出来るようになりたいと感じました。

韓国の方々のホスピタリティを見て、学び、実際に韓国や、他の国からお客様がいらしたら私自身にそれが出来るだろうかと考えました。

今のままでは全く満足しては頂けないと思い、牧師になるという将来に向けて「弟子の足を洗う事が出来る」ように日々邁進したいと考えています。

毎日私達原ゼミのメンバーと共に居てくれたイム・ヨンソップさんに感謝を述べたいと思います。

韓国訪問中、急病や怪我に苛まれる事も無くメンバーが無事に帰国できたことに、何よりの喜びと感謝を感じております。

神学部四回生 小林拓也

今回参加させて頂いたシンポジウムの結論として得られたことは、端的に言って、韓国の神学の土壌には日本の神学の影響が確かにある、ということでした。

このことを聞いて個人的にとっても嬉しく思いました。

昨今の日韓関係はお世辞にも良好とは言えません。

だからこそ、その良好とは言えない関係の原因がまさに形作られた時、韓国からの留学生が日本に来て勉強や生活をし、彼らの学び得たものの上に、今を生きる韓国の先生方や学生たちが立っているのだということを改めて正確に認識しようとする姿。

この姿こそ、私たち日本人が見習わなければならない姿勢だと感銘を受けました。

先日、開催されたサッカーアジアカップ日韓戦で「歴史を忘れた民族に未来はない」と書かれた横断幕が張ってあったことが問題になりました。

日本国内の反韓感情をさらに高める原因にもなりました。

しかし、「歴史を忘れない」ようにするためには、お互いの国が協力して正しく歴史を認識しようとする共同作業がとても大切なんだということを、今回の体験を通して実感しました。

容易には実現し難い場であることは間違いないと思います。

けれども、この旅行で韓国の人たちが見せてくださった暖かい「おもてなし」の心に直に接することができたことで、険しい道ながらも、そのような場を求め続けるに足る価値があるのだということを確認させてくれる、豊かな経験を伴う楽しい一週間となりました。



감사합니다!

또 만납시다!